

1 事業情報

上下水道事業評価(令和2年度)

担当課

浄水課

目指すべき方向性	安全	基本政策	1 安全・安心な水道水の確保	施策	1-1 水源の保全と確保	事業	1-1-2 自己水源の確保
----------	----	------	----------------	----	--------------	----	---------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携を図りながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。							
事業目的	・地下水の安定した揚水量を確保するため、取水井の適切な維持管理を行います。 ・自己水源の安定的な確保を図るため、老朽化した取水井の改良・掘替工事を計画的に実施します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・日常的に井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を実施し、井戸の健全性を確保します。 ・取水井(上青木4号井・神根10号井)の内部調査を行い、今後の運用方針を決定します。 ・神根浄水場7号井掘替工事他工事を行い、自己水源の安定的な確保を図ります。 ・渇水時においても環境法令を遵守した取水に努めた上で必要な水源を確保します。 ・神根浄水場12号井ポンプ更新工事を行い、自己水源の安定的な確保を図ります。							
期間	令和2年4月 ~ 令和3年3月							
予算額 決算額	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	88,017	5,775	82,242	78,628	5,170	73,458	89%
	工事費	81,806		81,806	73,054		73,054	89%
	原材料費	0			0			
	委託料	6,211	5,775	436	5,574	5,170	404	90%
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	8,058	8,058		8,058	8,058		100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	71,492	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	81%		
進捗状況	・計画通り井戸の水位監視を継続し、水位や揚水量の健全性を保ちました。 ・神根10号井の内部調査を実施するとともに、排水に使用した導水管や沈砂池の清掃も行い水質基準を満たしていることを確認しました。 ・神根7号井掘替工事は契約を締結し、作業に向けて打合せ等を行いました。 ・現在のところ渇水による給水制限はされていません。 ・神根浄水場12号井ポンプ更新工事は設計書を作成した状態です。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・計画通り井戸の静動水位の監視や揚水量の測定、内部調査を実施し、井戸全体の健全性が保たれました。 ・内部調査の結果、神根10号井はケーシング補強、上青木4号井は今後経過観察を行い安全性の確認後復旧します。 ・関係各課との情報共有を行い、工期内に安全に完了させ、自己水源の安定的な確保を行いました。 ・渇水による給水制限はありませんでした。生活様式の変化に伴い給水量が増えましたが、安定的に給水しました。 ・安全に施工を完了し、自己水源の安定的な確保を行いました。			
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた			
事業達成度C~Eの理由				

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	井戸の静動水位・揚水量の測定	単位	回/年	目標値	4	4	4	
算出式・根拠					実績値	4		
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	・井戸の静動水位及び揚水量の測定を継続し、自己水源の保全に努めます。 ・内部調査結果に基づき、今後の浚渫、掘替え等の判断材料とし、長期使用へ向けて、適切な維持管理に努めます。	現状維持で継続